

【十一月の言葉（令和元年）】

かんしゃく（癩癩）の

「く」の字を取って

かんしゃ（感謝）する。

かんしゃく（癩癩）、とは今風に言うところ「キレる・ムカつく」と言う表現になります。肩がぶつかっただけで刺し殺すといったような事件が多くなっています。正当な理由ならまだしも、理解不能な怒り方をする人があちこちにいます。また、受けた恩義を当然のように感じ、感謝の念をささげないという人も多くなりました。

便利な世の中になれば人々の心は豊かになるのだ、と誰しもが想像していたと思います。しかしどうでしょうか？結果は逆になりました。共同体の秩序がくずれ、個人の主張がぶつかりあうようになりました。自分の意に沿わないと少しの我慢もできないうです。

ささいな理由で怒ってみたところでどうなることでしょうか。自分の器の小ささが露呈するばかりで、後悔するばかりです。

怒りのタネを見つけるよりも、感謝の花を咲かせましょう。